



詫中名物一列通行

「トリプルT」(Takuchu Target Ten)のターゲットの中に、「交通事故ゼロを連続30日達成する」「交通ルールやマナーに関する地域からの苦情を3件以下にする」という項目がありました。4～5月の間、2列並進で登校していた生徒の自転車どうしが接触してスポークを折るという事故があったり、自転車の2列並進や右側通行などをして危ないといった通報が8件も寄せられたりしたからです。

そこで、先生方も毎朝立哨をしたり、マナーアップゾーンを設定して意識づけをしたりしてきました。そのおかげで、登校風景が見ちがえるようになってきました。木下歯科から中学校までのマナーアップゾーンだけでなく、詫間小学校前付近でも1列で通行する生徒が増えてきました。また、ちょっと危ないかもしれませんが、後ろを振り返って会話をしている生徒を見かけます。今までは横に並んで堂々と会話をしていただけども、1列を意識した結果こうなったのかもしれませんが。

すると、先日、地域の方から「最近、詫中生の自転車マナーがよかった」というお褒めのお言葉をいただきました。これまでにはなかったことです。また、地域の方からの電話もめっきり減り、木曜日に久しぶりにかかってきたと思ったら、「生徒を乗せてきたり迎えにきたりする保護者の車が校門付近で広がって危ない」という内容でした。逆に「最近の中学生はどうですか?」と質問したところ、「腕をハンドルの上に乗せて危なげに運転している者がいる」というだけで、2列並進については一言も触れられませんでした。

これらのことから、確実に様子が変わっていることがうかがえます。しかし、自信を持って100%できているとは言えません。未だにマナーアップゾーンでも、広がっているグループを3～4組見かけます。(1列でも前から見れば広がって見えることもあります)。また学校から離れた場所で、先生の姿を見ると急に1列になる光景も見られるそうです。右のような笑い話もありますが、先生が見ていなくても、地域の人が見ています。地域の人が見ていなくても、自分自身がわかっているはず。どうせここまでできるのなら、地域に誇れる、他校に自慢できる光景にしてみませんか。「詫中と言えば、一列通行ができる学校である」。

今から30年くらい昔にあった本当の話です。ある年配の男性が、夜遅く帰っていました。急いでいたのでしょうか、踏切で一旦停止をしないまま通り過ぎようとしていました。すると、警察官に呼び止められてしまいました。そのときの会話です。

警察官「おっさん、この一旦停止の線が見えなかったんか」

男性「いやいや、この線は見たんじやがあんたが見えなかったんじや」

・・・と、ここまでは先週までの話。ところが、昨日、部活帰りの生徒が交差点で信号を守らずに飛び出し車にぶつかりそうになったとの苦情が1件。さらに今朝、役場前を2列になって猛スピードで登校するので危ないとの通報が1件ありました。せっかくよくなりつつあるのに、一部の生徒の影響で再び悪い評判が立ちそう。これで苦情は3件目。今日から部活がなく一斉下校。同じあやまちをおかさないでください。

今、学校では・・・

◆ 今日、研究授業第2弾として、嶋田国照先生(2-1数学)、矢野利彦先生(3-1理科)、高井和雄(3-3数学)が授業を行います。他の学級は下校しますが、「特別授業」を受ける生徒たちはきっと頑張ってくれることでしょう。もちろん、先生方も頑張ります。

◆ 今日から1週間、給食管理実習として、本校卒業生の高田有紀先生が来られます。現在、実習を行っている田尾先生、島本先生と合わせると、今週は3人体制になります。最後の1週間、お互いにいい思い出をたくさん創ってください。

◆ 先日の生徒総会で発表された本年度の生徒会スローガンを校舎に掲げました。カメ太郎入りの横断幕は、道行く人からもよく見えます。詫間中学校が、地域の輝ける場所となるよう、生徒会を中心に元気で笑顔あふれる学校にしたいと思います。

